

## 絹の家（旧新井商店、秩父市）

2014年8月訪問  
埼玉モダンたてももの学生レポーター  
埼玉大学教養学部 島澤陽平



秩父往還沿いに建つ、江戸時代末期に建てられた蔵造りの建物です。どっしりとした構えが印象的です。

元々、絹糸を売買し、その絹糸でつくった絹織物の取引を行う、絹の買継問屋として賑わっていたようです。



主屋に隣接して、重厚な扉で守られた内蔵が残っています。

主に、絹の保管や貴重品の保管に使われていました。階段を上がると…重厚な梁が見えます！



主屋の2階に上がると、当時の問屋の風情を感じることができます。

格子越しに外を見ると、昔ながらの瓦屋根が続き、まるでタイムスリップしたようです。





主屋1階には、身近に音楽を楽しむスペースがあります。そこにあるグランドピアノは、アメリカのsteinway&sons（スタインウェイ・アンド・サンズ）製です。

現在は、NPO法人ちちぶ国際音楽祭が運営し、ミニコンサートが予定されています。また、同法人は、和室を活用し絵画展なども計画しているそうです。

かつて絹の買継問屋で賑わったこの建物は、時代を超えて今、文化芸術を楽しむ拠点としてよみがえりました。

